



春の校外学習・野外活動に行ってきました

5月14日(木)と15日(金)に、春の校外学習を実施しました。終盤に雨が降った日もありましたが、メインの行程では予定どおりに活動することができました。1年生にとっては、小学校生活で初めての校外学習となりましたが、約束を守って元気に参加していました。6年生は、さすが最高学年だなと感じる場面が多く見られました。他の学年もめあてを持って校外学習に参加してくれていて、見たこと・感じたことを話しに来てくれる子もいました。



1年生
ドリーム21



2年生
うだアニマルパーク



3年生
大阪自然史博物館
長居植物園



4年生
御所浄水場
アクアセンター



6年生
明日香村方面
飛鳥寺・石舞台古墳など

5年生は、5月27日(水)と28日(木)の2日間、曾爾村にある国立曾爾青少年自然の家で野外活動を実施いたしました。あいにく、小雨が降る中での活動となりましたが、前日までに5年生たちが一生懸命に作った「てるてるぼうず」が、完全な晴れとはいかないまでも、まみったちが元気に楽しむことができる空模様をプレゼントしてくれたようです。



校外学習および野外活動を実施するにあたりまして、保護者のみなさまにおかれましては、お弁当のご準備など、本当にありがとうございました。

続・胡蝶蘭のお話～何気ない子どもの「はてな」から～

2年生の先輩たちが1年生を案内してまわる「学校たんけん」が先日ありました。職員室や保健室、図書室や会議室など、学校中のいろいろな場所をめぐる。2年生は一生懸命に説明をしてくれました。1年生もきっと喜んでいただい違いありません。校長室にもたくさんの1・2年生がやってきました。歴代校長の写真を不思議そうに眺めたり、お客さまが座るソファに腰掛けたり、金庫の中身は何なのか興味津々だったり……。そんな中、ひとりのまみっこがつぶやいたのです。「あのお花(胡蝶蘭)って、何ですって咲いてんの?」と。何てすてきな着眼点でしょう。ウィットに富んだ切り返しをしてやろうとするも、「受粉するまでの間はエチレンをほとんど分泌しないからだよ。(いや、そんな説明をしてどうする??)」とか「花粉を運んでくれる虫と出会えるチャンスを長くするためだよ。

(いや、これも答えとしては固いなあ。)」などと悩むうちに時間が過ぎ、素敵になつつぶやきをした児童の興味は、とうとう棚に飾ってあるダルマへと移っていたようで「ねえねえ校長先生、ダルマって何?」……。子どもたちの「はてな探求の精神」にはいつも脱帽させられます。

思えば、子どもたちの「なぜ?」「どうして?」という探求心は、いつも予測不能で、エネルギーに満ち溢れています。子どもたちの問いかけに、つい「手際よく、格好の良い答え」を返してあげたくなることもあります。本当に大切なのは、用意されたスマートな答えを与えることではないのかもしれませんが。子どもたちの探求心が動く瞬間に寄り添い、どこまでもまっすぐ向き合い、一緒にわくわくするだけでよかったのかもしれない。



5月28日撮影



「ふしぎ」「なぜ?」を
いっぱいあつめようね!